



Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：日比野 万喜男
■幹 事：稲垣 圭次
■会報委員長：梅田 佳和

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第2778回 例 会 (H 3 1 . 3 . 2 6 火 晴 れ ※)

点 鐘 日比野 万喜男会長
R . S 手に手つないで 四つのテスト
幹事報告 稲垣 圭次幹事
1) 会報受信クラブ 岩倉 愛知長久手 瀬戸
2) 下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日 (曜)	場所 (変更理由)
名古屋城北	4月2日(火)	(夜間例会)
愛知長久手	4月2日(火)	(夜間花見例会)
岡崎南	4月2日(火)	(会場都合)
犬山	4月2日(火) →3月31日(日)	(親睦日帰り家族旅行)
岩倉	4月2日(火) →4月4日(木)	(岩倉RC・名古屋空港RC 合同花見例会(夜間))
春日井	4月5日(金) →4月6日(土)	(50周年記念式典)
美濃加茂	4月5日(金) →4月7日(日)	(春の家族親睦 日帰り旅行)
岩倉	4月9日(火) →4月14日(日)	(地区協議会)
愛知長久手	4月9日(火) →4月14日(日)	(地区協議会)

出席報告 (塚原義成副委員長)

出席率 92.31%

会員 57名 出席 48名 欠席 9名

欠席者 松平實胤君 野村憲治君 岡田雅隆君
山本幸夫君

前例会の修正(3/12分)

福富孝弘君(3/16eCLUBONE)河田敏和君(3/1 草屯扶輪社)保浦博志君(3/24eCLUBONE)丹羽敬昇君(3/15 eCLUBONE)小田漠己君(3/25eCLUBONE)小川誠君(3/20eCLUBONE)谷定貴之君(3/3 桜の回廊プロジェクト)植樹祭)宇佐美芳樹君(3/24eCLUBONE)

以上 84.91%を 100%に修正

前々例会の修正 3/5 分)

中村大輔君(3/12eCLUBONE)祖父江寿男君(3/13 各務原 RC)

以上 98.11%を 100%に修正

祝 福 (松山基邦委員長)

おめでとうございます!!

在籍 41年	石田 銑一君	4月 4日
皆出席 41年	河田 敏和君	4月 4日
在籍 22年	安達 英昭君	4月 1日
皆出席 20年	田中 茂生君	3月 30日
皆出席 7年	埴田 惣一君	3月 27日

ニコボックス (小川保利委員長)

日比野万喜男君 次例会は3月31日(日)花見家族日帰り親睦旅行です。予報ではお天気も良さそうなので大変楽しみにしております。親睦活動委員会の皆様、宜しくお願いします。

(同文にて) 小川嘉吉君 稲垣圭次君 鈴木一成君 小川征一君 さる3/21～3/25の間、犬山商工会議所国際委員会と観光部会の共催にてマレーシア、バンコクへ視察旅行へ行き、しっかり研修して参りました。

(同文にて) 塚原義成君 高橋秀治君 小川誠君 真野健二君 兒玉寿君 宮本照剛君 今限りで退会いたします。クラブの皆様には大変お世話になりました。

福富孝弘君 先週娘の結婚式でした。一人娘の為、婿養子をもらいます。仕事も一緒にやりますので皆さんどこかで会う機会がありましたら宜しくお願いします。

石田銑一君 在籍 41年を喜んで!
河田敏和君 皆出席 41年を喜んで!
安達英昭君 在籍 22年を喜んで!
田中茂生君 皆出席 20年を喜んで!
埴田惣一君 皆出席 7年を喜んで!
宇佐美芳樹君 皆出席 2年を喜んで!





会長挨拶（日比野万喜男会長）



皆さん こんにちは。

本日は、残念ながら報告をしなければなりません。持ち回り理事会で承認されましたが、成田山大聖寺主監の宮本照剛さんが、一身上のご都合で、6月いっぱい退会されることになりました。4月以降は例会を欠席され、最終例会にはご出席の予定だそうです。ご報告させていただきます。

さて、今月はロータリーの水と衛生月間です。お食事の前で恐縮ですが、トイレの話を少々させていただきます。

トイレは、文明の発祥以前から、そういう場所は存在し、紀元前40世紀頃には、既に水洗型のトイレが使われていたと言われています。それは単に「川を利用した」とか「穴を掘った」という原始的なものではなく、便座があり、下水道があり、その素材に煉瓦や石を使ったかなり精巧なものでした。

紀元前22世紀頃のシュメール時代、イラク北部にある遺跡エシュムナや、同じ頃に存在したバビロニア（現在のトルコ）の都市ウルからは、下水道に直結した水洗トイレが見つかっています。インダス文明の有名な遺跡モヘンジョ・ダロからも、腰掛け式トイレと汚物の沈殿槽まで見つかっています。

紀元前7世紀頃の古代ローマ、タルクイニウス王の時に完成した大上下水道網（クローアカ・マクシマ）は現在も使い続けられているほど完成度の高いもので、かなり衛生的だったようです。

しかし、中世ヨーロッパでは、排泄物に対して「始末」が悪かったようで、街の匂いは「糞便の匂い」だったと言います。ヨーロッパでハーブや香料が発達したのは、そうした「くさい臭い」を解消する目的があったようです。

そうなった原因は、排泄を恥ずかしいこととみなすキリスト教の考えから、自分専用トイレが発達するよ

うになったことです。「トイレはベッドと同数だけあるのが望ましい」とされましたが、それができたのは、一部の財力と権力を持つ貴族や修道院に限られ、一般貴族や庶民は「チェンバー・ポット」いわゆる「おまる」を利用し、それが、満杯になると外に捨てに行くという方法をとっていました。

12～13世紀のパリでは、道路の真ん中に水路があり、そこに「おまる」の中身を流していました。この水路は、セヌ川へと繋がっていて、汚物はセヌ川に流れます。

イギリスでは、汚物はゴミと一緒に市の職員が3週間ごとに片付ける決まりでしたが、ほとんど守られず、多くの一般庶民は窓から汚物を直接ぶちまけていたと言います。ヨーロッパの街並みにサンルーフが付いている家が多いのは、窓からの「糞害」から身を守るという切実な理由があったようです。石畳の街路も、汚物でヌルヌルになり、これを避けるため、ハイヒールやブーツなど、かかとの高い靴が考案されました。当初そのハイヒールは、男性の履き物でしたが、のちに、スタイルを気にする女性に受け入れられたようです。それから、中世の女性のスカートは、胸から下の部分が大きく膨らんだ「フープ・スカート」が主流でしたが、実はこの形は立ったまま排泄しやすいようにという配慮から生まれたものと言います。そんな感覚だったようです。

そんなことで、ヨーロッパの衛生状態は、時代が進んでも良くなるどころか、ますます悪化しました。こうした劣悪な衛生状態を背景に、14世紀頃から、ペストが大発生し、ロンドンでは1日7,000人以上の人が死に、コレラも19世紀中頃から流行し始め、ロンドン市だけで数万人の死者を出しています。

このコレラの大流行から、人々の間に衛生観念が、根付き始め、下水道が急速に整備されていきます。現在のトイレでも採用されているU字型排水口、水洗タンクなどが発明され、急速に清潔になっていきました。

2016年1月に国連が発効した「持続可能な開発目標」には、17の目標の一つに「安全な水とトイレを世界中に」が含まれています。現在の水洗便所は、紀元前のシュメール時代などに戻っただけの、放棄する方法で、それは、少し制御を間違えれば、大きな災いをもたらすことは、歴史が証明しています。

それゆえ人類の幸福な未来を考えた時、私達は、水も含め、食料・エネルギー・資源など、全てのもので、持続可能な方法を模索していく必要があるのではないかと思います。皆さんはいかがお考えでしょうか。

以上、本日の会長挨拶と致します。

